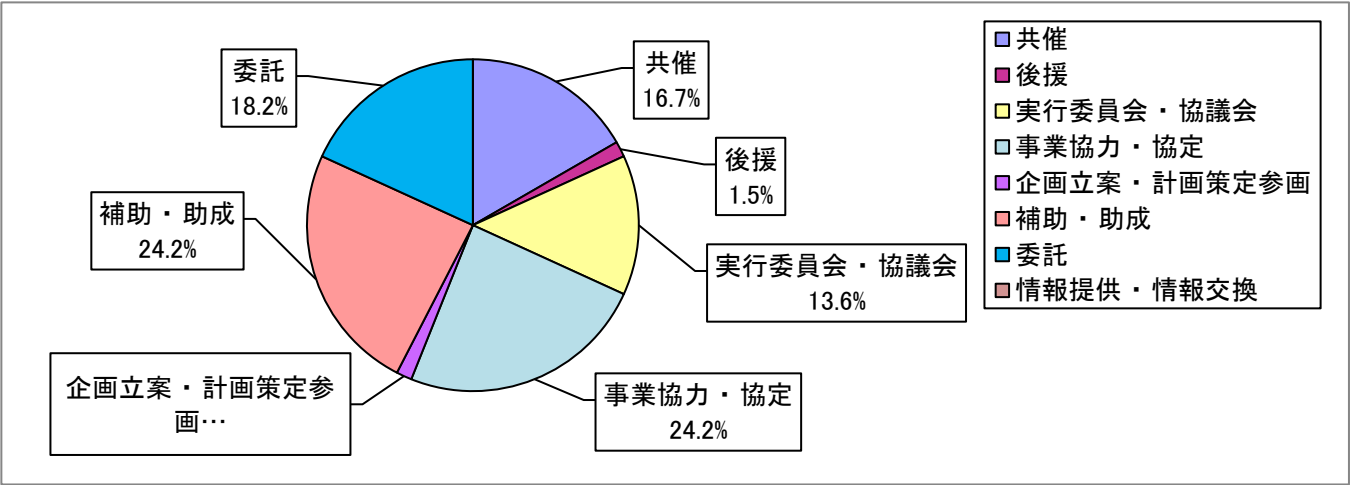


沼田市の市民協働事業(令和5年度)

1 協働事業の状況

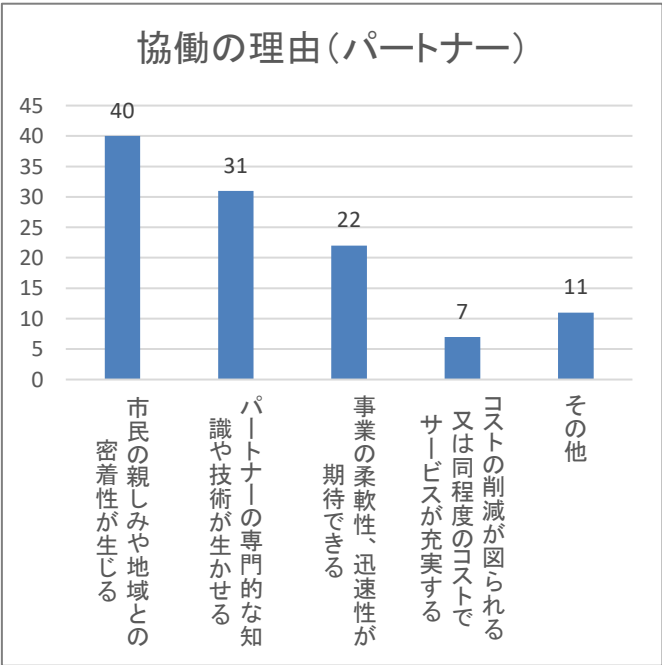
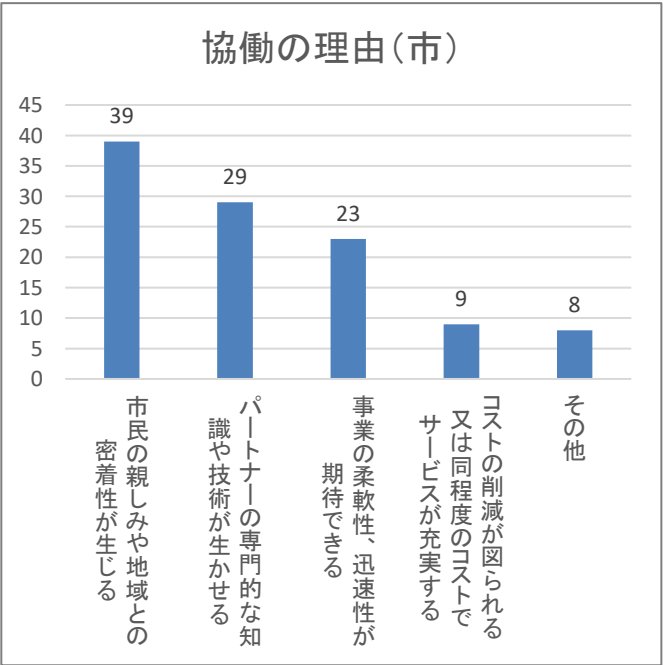
○手法別の状況

区分	共催	後援	実行委員会・協議会	事業協力・協定	企画立案・計画策定参画	補助・助成	委託	情報提供・情報交換	計
事業数	11	1	9	16	1	16	12	0	66
割合	16.7%	1.5%	13.6%	24.2%	1.5%	24.2%	18.2%	0.0%	100%



○協働の理由

協働で事業を行う理由について、複数回答で選択していただきました。一番多かったのは、行政と市民(または地域)との親和性を重視する理由でした。

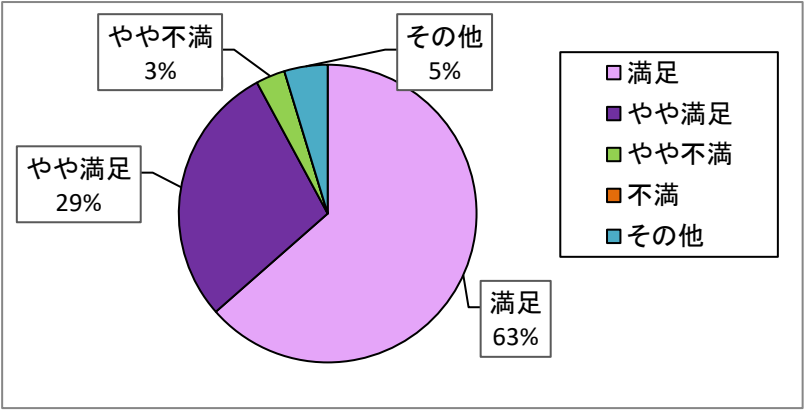


2 協働事業の評価結果

今回実施した調査では、協働という視点で事業を捉えて、各事業の評価・点検を行いました。その評価結果(満足度)については、次のとおりでした。

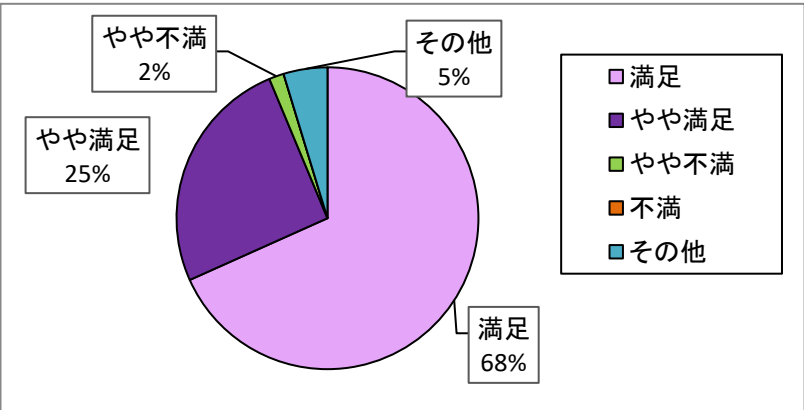
○市の担当者の満足度

区分	事業数	割合
満足	40	63.5%
やや満足	18	28.6%
やや不満	2	3.2%
不満	0	0.0%
その他	3	4.7%
計	63	100%



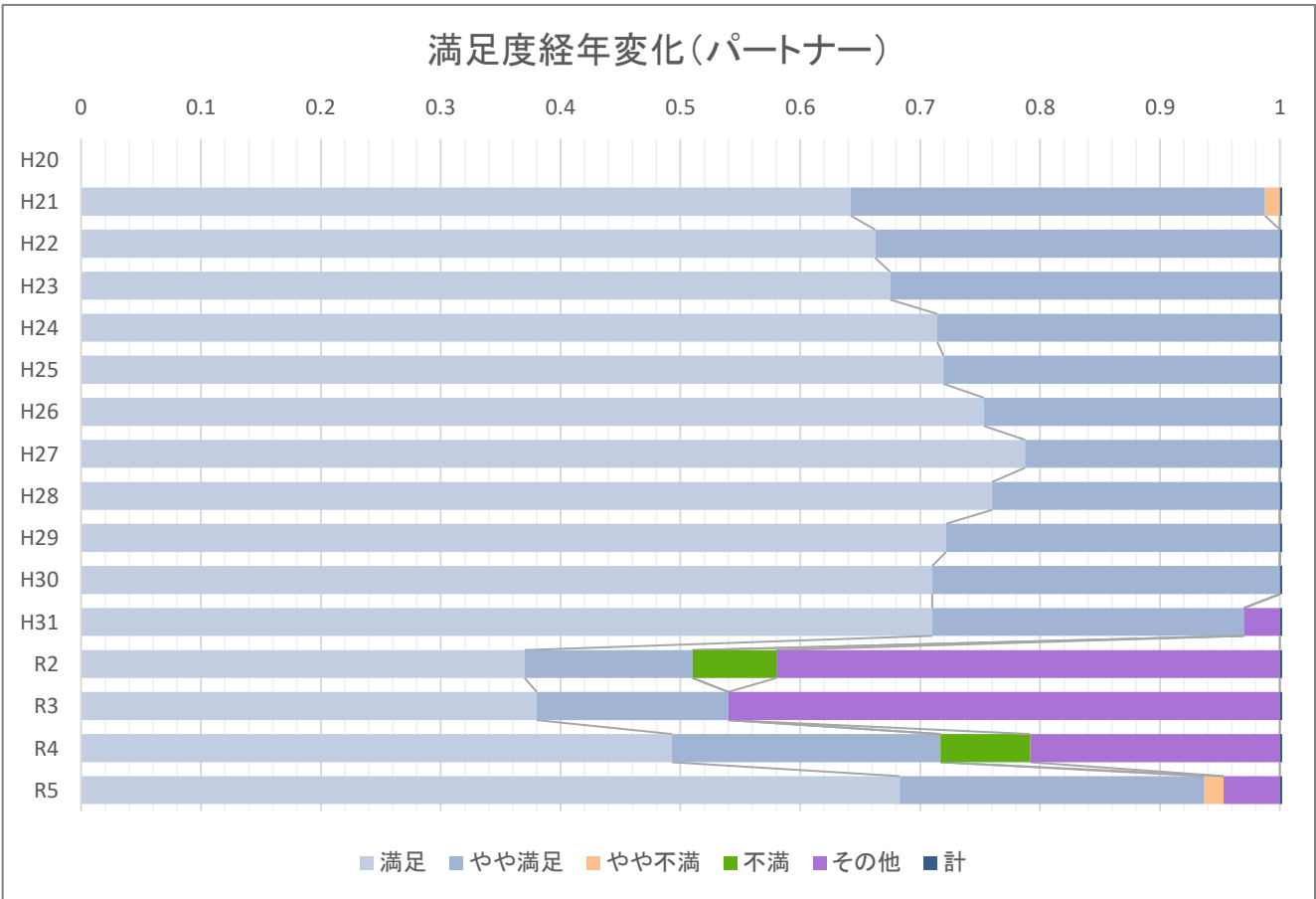
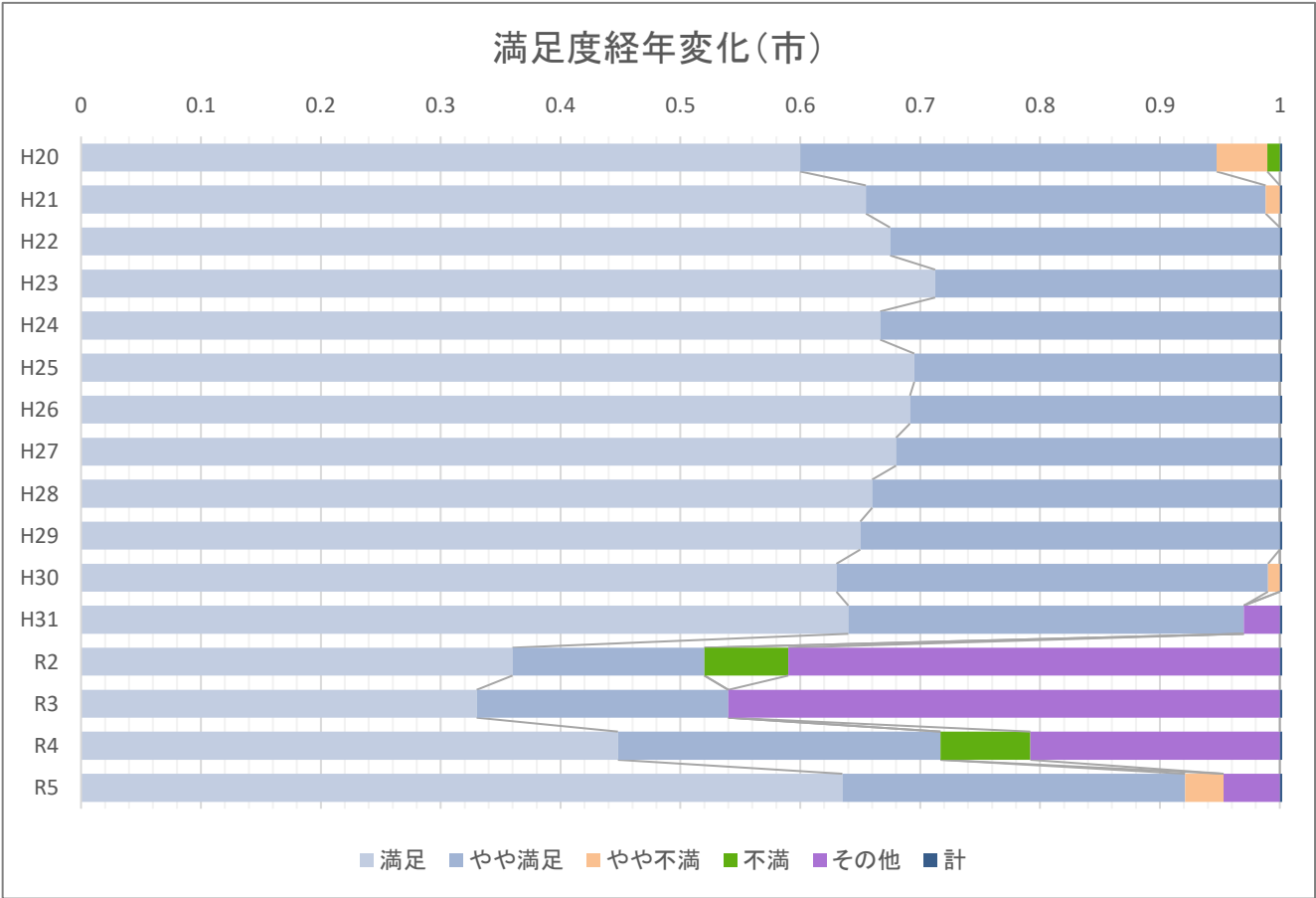
○協働のパートナーの満足度

区分	事業数	割合
満足	43	68.3%
やや満足	16	25.4%
やや不満	1	1.6%
不満	0	0.0%
その他	3	4.7%
計	63	100%



○満足度の経年変化

過去16年間の満足度を比較しました。新型コロナウイルスの影響で中止になった事業は「その他」を選択しています。その他を除けば、実施された事業の半数以上が高い満足度で推移しています。

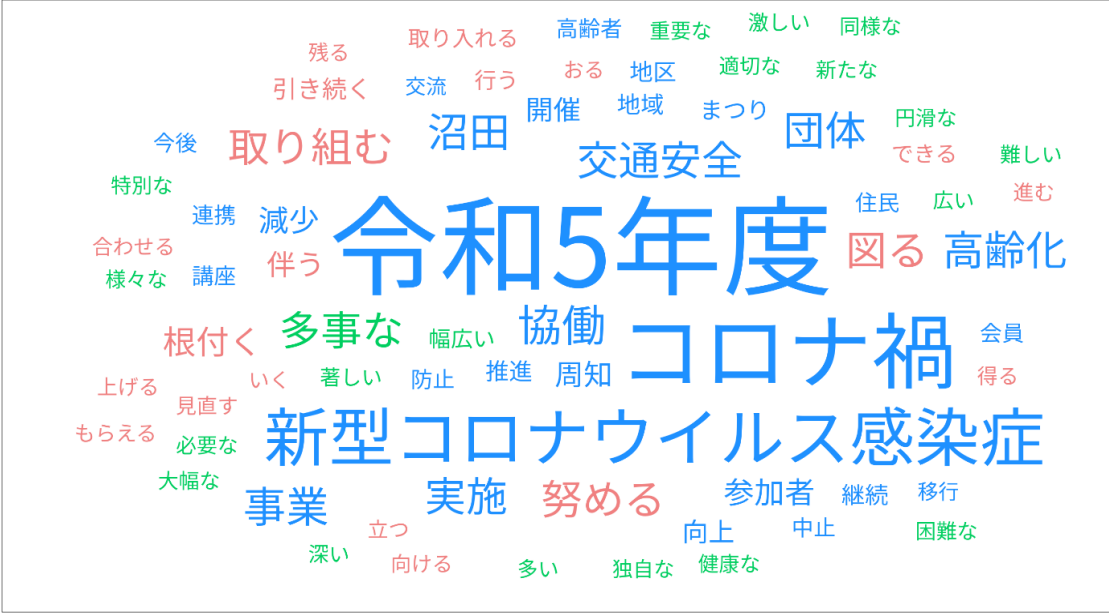


○感想等のコメントに対する分析

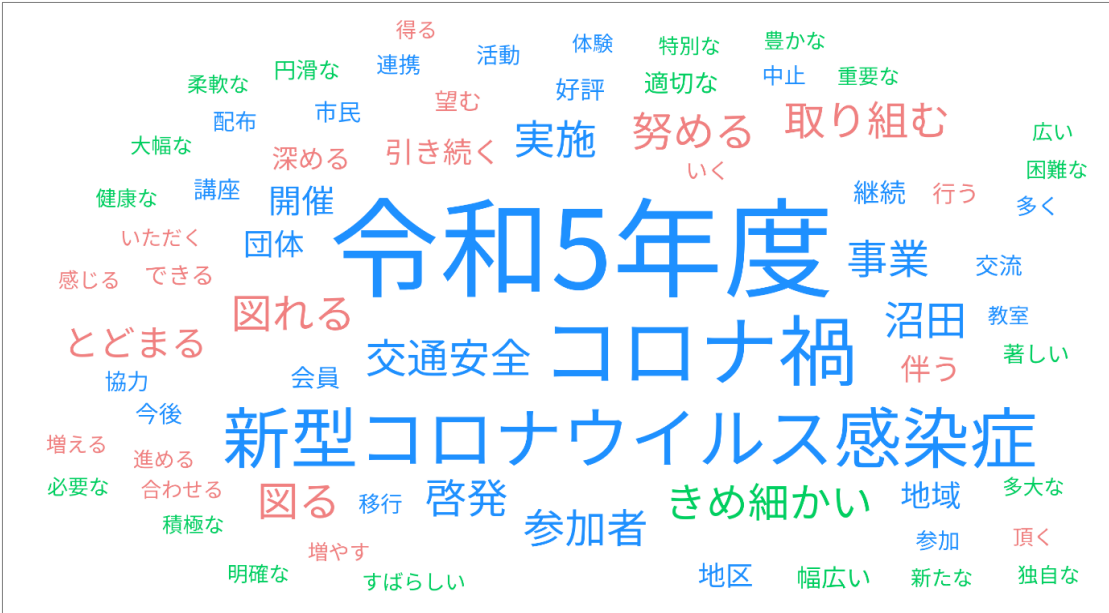
市、パートナーそれぞれのコメントをテキストマイニングで分析しました。重要度の高い言葉に重みをつけ、スコアが高い順に文字が大きくなっています。単語の色は品詞の種類で異なっており、青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞・形容動詞、灰色が感動詞を表しています。

感染症の影響で中止になった事業も多かったため、「コロナ禍」や「新型コロナウイルス感染症」の出現頻度が多いようです。

市のコメント



パートナーのコメント



※ユーザーローカルAIテキストマイニングによる分析(<https://textmining.userlocal.jp/>)

3 令和5年度の事業より紹介

令和5年度に協働事業として取り組んだ事業から、手法別に2事業を紹介します。

No.	担当課	事業名	手法別	パートナー	事業内容
24	子ども課	未来のライフデザイン啓発動画作成事業	事業協力	Hug Hapi(はぐはぴ)	未来のライフデザイン啓発動画「ハタチからの参考書」の作成
38	農林課	沼田市農業まつり	実行委員会・協議会	沼田市農業まつり運営委員会(利根沼田農業協同組合)	農産物直売、抽選会など多彩なイベントにより農業のアピールと交流

No.24 未来のライフデザイン啓発動画作成事業



QRコードから動画本編をご覧ください



ハタチになった方へのメッセージ



若い世代が結婚や出産、子育て、仕事などのライフデザインをイメージできる情報を発信

No.38 沼田市農業まつり



開会式



群馬のうまい牛乳配布



地元農産物等の販売

4 令和5年度 沼田市協働事業一覧

		担当課	事業名	手法別	協働のパートナー (記入団体)	事業内容	事業の成果・課題・改善策、改善点など	
							担当課	パートナー
	1	地域安全課	防火・防災事業	補助・助成	沼田市八職工 防火協力会	歳末特別警戒・出初式・災害 時の消防機関への協力	当該団体が行う歳末特別警戒は、消防団が行う歳末特別警戒とともに年末の恒例の事業として市民に深く認識されている。今後においても、ともに実施していきたい。	
	2	地域安全課	沼田市地区交通安全会連 合会活動事業	補助・助成	沼田市地区交通安全会連 合会	交通安全運動の推進・普及徹 底及び交通指導	各地区交通安全会が連携し、交通安 全運動等に取り組むことにより、交通安 全への啓発や、交通事故防止に寄与し ている。	地区交通安全会が連携し、交通安 全運動等に取り組むことにより、交通安 全への啓発や、交通事故防止に寄与し ている。 役員のなり手が減ってきており、活動 に支障を来している。 各地区交通安全会との情報交換を積 極的に行い、横の連携をより強化した い。
	3	地域安全課	タフティクラブ活 動事業	補助・助成	タフティクラブ	幼児と母親の交通安全教育 や研修の実施	新型コロナウイルス感染症の5類移 行に伴い、市内の保育園や幼稚園から の交通安全教室開催の要望が前年度 より増加した。今後もクラブ員の経験や 技能を生かし、市内の保育園・幼稚園 での交通安全教室や高齢者向けの交 通安全教室を実施する等、交通安全教 育に貢献していく。	新型コロナウイルス感染症の5類移 行に伴い、市内の保育園や幼稚園から の交通安全教室開催の要望が前年度 より増加した。開催した保育園や幼稚 園の園児の反響が大きく、活動の励み になった。今後もクラブ員の経験や技能 を生かし、市内の保育園・幼稚園での 交通安全教室や高齢者向けの交通安 全教室を実施する等、交通安全教育に 貢献していく。
	4	企画政策課	沼田市国際交 流事業	補助・助成	沼田市国際交 流協会	国際都市交流及び親善に関 すること 国際交流の啓発と普及 国際交流に関する調査研究	姉妹都市であるフッセン市と、9月に はオンライン交流会、3月には訪問団が 来沼した際の対応を行い、両市の親 睦、相互の理解を深めた。 (改善点など)国際交流フェスティバル は、他のイベント内での出店という方法 をとるなど、開催方法を工夫し、多くの 人々が参加した。	市内に在住する外国人が、市民ととも に楽しく暮らせる多文化共生社会の実 現に向け、各種事業を実施した。また、 フッセン市とのオンライン交流会、来 沼時の対応を行い、交流を深めた。 (改善点など)当初計画になかったフッ セン市訪問団の対応については、行程 などを工夫し、皆さまに喜んでいただ けた。二市の親善に貢献できたと考える。

		担当課	事業名	手法別	協働のパートナー (記入団体)	事業内容	事業の成果・課題・改善策、改善点など	
							担当課	パートナー
中止	5	市民協働課 (白沢地区コミュニティセンター)	白沢ふるさとまつり	実行委員会・協議会	白沢ふるさとまつり実行委員会	地域に根ざした伝統的な行事であり、白沢地域の振興を図るとともに、住民相互のつながりや来訪者との交流を促進する。	令和5年度白沢ふるさとまつりについては、実行委員会・協議会において、今までの神輿中心のまつりでは参加者の確保が難しいことから中止が決定となった。 令和6年度以降の白沢ふるさとまつりについては、多くの町民が参加できるまつりを継続して実施していくことを目標に、検討委員会を立ち上げ協議し、令和6年度は盆踊り大会と合同でまつりを開催する方向となった。	
	6	市民協働課 (白沢地区コミュニティセンター)	白沢町盆踊り大会	実行委員会・協議会	白沢町盆踊り大会実行委員会	伝統行事である盆踊りを継承し、親睦と交流の場とする。	住民相互の交流や地域の振興が図られており、地域振興事業として重要な役割を果たしている。今後も地域の伝統行事として継続していく必要があると考えられる。	白沢町における伝統行事であり、また、後継者の育成も重要であることから、今後も継続して開催していきたい。
	7	市民協働課	市民協働によるまちづくり事業補助金	補助・助成	市民活動団体、地域コミュニティ代表者など (石墨たんぼドローンコ隊)	地域の活性化や問題解決に向けた活動への助成。 事業審査は市民等が行う。	令和5年度は、7団体が協働によるまちづくりを推進するため、補助金を活用し、事業を実施した。地域による偏りが出ないよう、さらに広く周知を行いたい。 (改善点など)4月1日からの事業実施ができるよう、3月中旬に審査会を開催している。	昨年度は、小中学生は無料、大人は1,000円/人で実施、延べ10人程度の参加にとどまったが、少人数できめ細かく柔軟な対応ができたことで、来場者には満足してもらったと思われる。そもそも体験の特性上、上限5名程度としていた。今年度は、他の体験(おさら作り・食事)と合わせて、10,000円/人で2024年4月から継続実施中。(実績1名)
	8	市民協働課	市民活動センター管理運営事業	企画立案・参画	市民活動センター運営委員会(有識者・利用団体代表者・市職員)	市民活動センターの円滑な運営について検討する。	有識者や市民活動団体の代表者である運営委員から構成される委員会での意見は、市民活動の生の声であり、各種事業などセンター運営に反映していきたい。 今後も運営委員会を継続開催し、市民活動の支援、拡充に努めたい。	運営委員会は、センターの円滑な運営を図るために設置されたものであり、市民活動団体の代表者が委員となっていることにより、実際に活動している人たちの意見を聞くことができる。 今後も、市民活動の活性化を図るために、事業について協議を継続していきたい。

		担当課	事業名	手法別	協働のパートナー (記入団体)	事業内容	事業の成果・課題・改善策、改善点など	
							担当課	パートナー
	9	市民協働課	男女共同参画推進事業(セミナー開催、計画の推進)	共催	北毛地域人権啓発活動ネットワーク協議会、大学教授、一般市民等 (北毛地域人権啓発活動ネットワーク協議会)	セミナー開催により、市民の意識啓発を図る。企画の段階から市民参加で検討する。	セミナーの連続講座については、企画実行委員会参加者が必要な情報を市民目線で考え、テーマを決定し、開催することができた。 講演会については、講師のオンライン登壇ではあったが、6月10日に実施した。 「男女共同参画情報紙 ハピネス」については、連続講座を題材に、令和6年1月に第16号を発行することができた。 新たな参加者を増やすための工夫を検討し、来年度の実施に向け検討したい。 (改善点など)昨年に引き続き、市民が中心となり柔軟な企画や実施が図られた。	令和5年度は、前年度に引き続きダイバーシティをテーマとし、連続講座及び講演会を計画した。連続講座では第1回に山口アドバイザーの講演と第2回にDV・虐待被害者支援の立場にある官民の関係者を招き実施し、多様性について市民の理解が深まった。講演会については、『私らしく生きる～心とからだのセルフケア～』をテーマに高尾美穂氏を講師に実施した。(オンライン講演会) また、連続講座を題材に「男女共同参画情報誌 ハピネス」を作成・全戸配布し、その内容を広く周知することができた。 (改善点など)臨機応変に工夫し、市民が主体となり進めている。
	10	市民協働課 (利南地区コミュニティセンター)	利南地区コミュニティセンターまつり	共催	利南笑顔倶楽部有志、利南地区老人クラブ連合会	作品の出展、参加を通して地区民の親睦と個々の資質の向上を図り、連帯感を深め、地域の発展に寄与する。	令和元年度、利南公民館まつりの開催以降、新型コロナウイルス感染症の影響により、本事業は令和4年度までの3年間中止していた。 新型コロナウイルス感染症が5類に移行し実施したが、公民館からコミュニティセンターになったことや長期間のブランクもあり、今までの方法に立ち戻ることが困難な中での開催となったが、来館者参加の「体験型」とすることで、幅広い世代に楽しんでもらうことができた。 今後は、地域住民の方のニーズを考慮した内容や、新たな協働のパートナーの発掘などを進めていきたい。	令和元年度、利南公民館まつりの開催以降、新型コロナウイルス感染症の影響により、本事業は令和4年度までの3年間中止していた。 新型コロナウイルス感染症が5類に移行し実施したが、公民館からコミュニティセンターになったことや長期間のブランクもあり、今までの方法に立ち戻ることが困難な中での開催となったが、地域の活性化を進められたと感じた。 今後は、地域住民の方のニーズを考慮した内容や、新たな協働方法など検討していきたい。
	11	市民協働課 (池田地区コミュニティセンター)	池田高齢者教室	実行委員会・協議会	池田地区老人クラブ連合会	池田地区在住の高齢者を対象とした講座等の開催	高齢者の社会参加を促し、健康づくりと生きがい創造活動を担う場として機能している。 高齢者が変化の激しい現在社会に適応できるよう、お互いが知恵を出し合い潤いのある活動を行っていけるよう引き続き取り組んでいきたい。	参加者は幅広い教養を身に付け、意識の改革が図れた。 各種の取組は豊かな老後生活の基礎となるものであった。 今後も主体的に学び、行動する姿勢を創り出しながら、積極的に参加できる雰囲気づくりを市(コミュニティセンター職員)と情報交換や協力を行い取り組んでいきたい。

		担当課	事業名	手法別	協働のパートナー (記入団体)	事業内容	事業の成果・課題・改善策、改善点など	
							担当課	パートナー
	12	市民協働課 (池田地区コミュニティセンター)	池田地区文化祭	共催	池田地区振興協議会	文化祭の開催(短歌・俳句・書道・絵画・水墨画・手工芸・陶芸・切り絵・押し絵・押し花・生け花・彫刻・写真・盆栽等、文化作品の展示)	市民参画による文化芸能の振興及び生きがいづくりの向上が図られた。 ポスターやチラシなどを工夫し、さらに広く住民に周知していくとともに、事業の充実を図ることが必要である。	小学生から高齢者まで作品が出展され、成果は得られたと思われる。 また、作品を出展することにより、地域住民の生涯学習の意欲の向上が図られている。
変更	13	市民協働課 (池田地区コミュニティセンター)	地域いきいきチャレンジ事業	事業協力・協定	明治安田生命	わたしと家族のそうぞく講座	専門的知識を活かした講座を開催することができた。当市との包括連携協定に基づき、地域社会の発展と市民サービスの更なる向上を推進するため、今後とも、地域の特色ある事業へ連携・協働し、地域の活性化及び行政のサービス向上を図りたい。	明治安田生命では、「地元の元気」、「みんなの健活」をテーマに地域の皆様が元気になり、健康を維持していく社会作りに貢献していきたいと考えております。昨年度皆様のご協力のもと、上記テーマで定期講座を開催させていただき大変ありがとうございました。新年度も引き続き開催させていただき、地域の皆様の元気と健康維持にお役に立てれば幸いです。今後ともよろしくお願いいたします。
	14	市民協働課 (薄根地区コミュニティセンター)	薄根地区芸能祭	共催	薄根地区振興協議会 ほか (薄根地区振興協議会)	旧公民館まつりの継続事業	新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことから、コロナ禍以前の規模で開催することを検討した。焦点となったのは、コミュニティセンター会議室の収容人員である。以前は100人前後の入場者がおり、規定の収容人員50名を大幅に超えている。コロナ禍になり規定収容人員を堅持してきたことから、芸能発表会場を薄根幼稚園、作品展示会場を薄根地区コミュニティセンターと会場を分けて開催した。	
	15	市民協働課 (川田地区コミュニティセンター)	川田地区民展	共催	ふれあいカワダ会、川田地区青少年育成連絡協議会ほか (ふれあいカワダ会)	川田地区において制作された作品の展示と表彰式の開催	新型コロナウイルス感染症拡大防止を踏まえ、令和2年度から令和4年度まで開催を見合わせたが、令和5年度はコロナの状況に留意しながら開催。 川田地区住民をはじめ、川田保育園・川田小学校・沼田西中学校・コミュニティセンター講座等で制作された多数の作品(絵画・書道・文芸・手工芸・生花・盆栽・写真・その他)が出品され、技術の向上と住民相互の親睦が図られた。 保育園児、小・中学生の作品については、審査と表彰を行うことで子どもたちの創作意欲の向上が図られ成果を上げている。	ボランティアによる事業運営に対する補助、フラワーアレンジメント体験教室の開催など、地域の方々に多大な協力をいただき、盛大に開催することができた。

		担当課	事業名	手法別	協働のパートナー (記入団体)	事業内容	事業の成果・課題・改善策、改善点など	
							担当課	パートナー
	16	市民協働課 (川田地区コミュニティセンター)	川田卓球教室	後援	ふれあいカワダ会、沼田市スポーツ協会川田支部、地域ボランティア (ふれあいカワダ会)	地域の住民に週1回卓球ができる場所を提供	本事業については令和4年7月から開催しており、令和5年度においては年間延べ927人の参加を得た。 今後も関係団体との連携により開催していく予定である。	
	17	市民協働課 (白沢地区コミュニティセンター)	白沢町高齢者教室	事業協力・協定	白沢町燦々会	白沢町在住の60歳以上の高齢者を対象とした講座の開催	運営委員会において活動内容を検討し、委員の意見や要望等を取り入れて、教室運営に反映させることができた。 会員の高齢化が著しく参加率が低下している。会員の多くが老人クラブ加入者のため、老人クラブ以外の会員も増えるよう募集の工夫が必要である。	
	18	環境課	環境啓発事業 (環境フォーラムぬまた等)	委託	ぬまた環境ネット	ぬまた環境ネットの運営と環境啓発事業(環境フォーラムぬまた)の開催	前回よりも来場者数が減少してしまったため、周知方法や出店内容について見直していきたい。	「ぬまた環境ネットだより」(4月発行、全戸配布)を通じ、加盟団体の活動を紹介するとともに、昨今の環境問題の啓発に努めた。 「第16回環境フォーラムぬまた」について、広く告知に努めたところ、他市町村からの来場者も見受けられ、「沼田の環境問題に取り組む姿勢はすばらしい」と感想を語っていただいた。
	19	環境課	環境啓発事業 (ブナの幼木移植)	事業協力・協定	ぬまた環境ネット (利根沼田自然を愛する会)	玉原高原の再生のためケヤマハンノキ林にブナの幼木を移植する。	移植した幼木が根付き一定の成果は見られた。 事業目的達成のため、長期的な視点に立って事業を継続することが必要である。	広報ぬまたやHPに掲載し、参加申込もあり、参加者の輪の広がりがあつた。 作業後の経年結果等を記録している。 (改善点など)市民の他に、県民にも広報で知らせる工夫をした。
	20	環境課	春・秋の市内一斉清掃	共催	沼田市環境保健協議会	道路愛護運動と同時に道路・河川・公園等の清掃作業を実施する。	令和3～4年度は、新型コロナウイルスの関係から、事業としては実施できず、独自に実施するかを地区の判断で行っていたが、令和5年度より事業として再開した。	令和3～4年度は、新型コロナウイルスの関係から、事業が実施できず、地区の判断で独自に実施する地区があるということだったことが、令和5年度より再開した。当事業を通して、地域の交流や環境美化意識の啓発等の効果を考えると、事業を継続していく必要性を改めて実感した。 来年度の事業については多くの市民の方に参加していただけるよう、環境保健協議会の会議等において各町の支部長に協力をお願いしていきたい。なお、高齢化により危険箇所の清掃が困難であると言っている町が増えてきた。

		担当課	事業名	手法別	協働のパートナー (記入団体)	事業内容	事業の成果・課題・改善策、改善点など	
							担当課	パートナー
	21	環境課	有価物集団回収事業	補助・助成	東倉内町リサイクル運動推進協議会 外48団体 (沼田イーストジュニア)	再生可能な資源の回収を集団回収事業により実施	令和5年度の集団回収事業登録団体は43団体、延べ228回実施され、紙・缶・びん等の再生可能な資源が約308t回収された。 人口減少によるごみ排出量の減少もあり、回収量について8.33%減少したと考えられる。 近年、少子化に伴う育成会活動の休止や老人会の活動の縮小などにより活動団体数は減少傾向にあるなかで、新規団体に参加してもらえよう、継続して周知を図っていきたい。	児童の保護者及び関係者の方々に協力していただき、奨励金を活動費に充てることができた。引き続き、集団回収事業を実施していきたい。
中止	22	子ども課	親子ふれあい交流事業	事業協力・協定	沼田市母子会	ひとり親家庭の親子のレクリエーション等の実施		
	23	子ども課	沼田市子育て支援ネットワーク事業	事業協力・協定	沼田市子育て支援ネットワーク推進協議会	子育て支援団体等ネットワーク事業の実施	子育て支援団体等のネットワークの構築により、子育て家庭のニーズの把握が可能となり、ニーズの高かった地域子育て支援拠点事業「子ども広場」を開設することができた。令和元年度に子ども広場がテラス沼田へ移転拡充した際も、各子育て支援団体が連携して取り組むことができた。新規で取り組んでいる子どもの居場所づくりについては、支援の必要な子どもとその世帯に対して、市と協働で支援を行うことができた。 (改善点など)各団体及び市との情報共有や意見交換など、お互いに顔の見える連携がとれるようにしている。平成28年度からは、子ども課に配置している「子育てコンシェルジュ」も意見交換の場に参加し、連携体制の強化に努めるようにした。	市が子育て支援ネットワーク事業として、平成25年度に地域子育て支援拠点事業「子ども広場」を開設した際は準備段階から関わり、子ども広場が子育て支援の拠点として大きな役割を果たせるようになっていっていると感じている。新規に取り組んでいる子どもの居場所づくり事業においては、支援の必要な子どもとその家庭に対して関係機関と連携して対応をしている。 (改善点など)各団体及び市との情報共有や意見交換など、お互いに顔の見える連携がとれるようにしている。平成28年度からは、子ども課に配置している「子育てコンシェルジュ」も意見交換の場に参加し、連携体制の強化に努めるようにした。

		担当課	事業名	手法別	協働のパートナー (記入団体)	事業内容	事業の成果・課題・改善策、改善点など	
							担当課	パートナー
	24	子ども課	未来のライフデザイン啓発動画作成事業	事業協力・協定	Hug Hapi(はぐはぴ)※沼田市子育て支援ネットワーク推進協議会の参加団体	未来のライフデザイン啓発動画「ハタチからの参考書」の作成	Hug Hapi(はぐはぴ)の事業協力・協定により、地域の若い世代や子育て世代の等身大の姿が反映された啓発動画が完成した。 新型コロナウイルス感染症の拡大により冊子から動画へ変更し、市公式YouTubeに公開した。引き続き同団体との協働により、新たな視点を取り入れながら内容・デザイン等の見直しを行い、よりよいものを作成していきたい。 (改善点など)従来作成した冊子の内容を引き継ぎつつ、Hug Hapi(はぐはぴ)のメンバーが新たに企画して、小中学生へ開催している未来のライフデザイン事業の様子も取り入れ、より魅力的な啓発動画を作ることができた。	市との役割分担を明確にし、企画・編集についてはパートナーの裁量により作業を進めることができたため、地域の若い世代や子育て世代の等身大の姿を反映させ、二十歳を迎える若者が自らのライフプランを描きやすいような啓発動画が完成した。市公式YouTubeに掲載することで、より多くの方へ発信することができた。引き続き市との協働により、内容・デザイン等の見直しを行い、よりよいものを作成していきたい。 さらに、子育て中の方々などに声かけをしてメンバーを増やししながら活動を広げていきたい。 (改善点など)冊子を作成し、成人式で配布をしていたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により令和2年度から動画形式に変更して取り組んでいる。 市公式YouTubeに掲載することにより、より多くの人へメッセージを伝えることができた。従来作成していた冊子の内容を引き継ぎつつ、Hug Hapi(はぐはぴ)のメンバーが新たに企画して、小中学生へ開催している未来のライフデザイン事業の様子も取り入れ、より魅力的な啓発動画を作ることができた。
	25	子ども課	ハッピープロジェクト事業	委託	ぬまたハッピープロジェクト運営委員会	地域における出会いの場づくり	出会いを応援し、沼田を元気にするネットワークとして平成28年8月に設立された「ぬまたハッピープロジェクト運営委員会」には、現在、青少年団体、子育て支援団体、農業団体などが参加している。今後も様々な団体に声かけをし、ネットワークの拡大を図りながら、より効果的な事業を推進していきたい。 (改善点など)令和5年度はイベントの企画段階から、日本婚活支援協会のアドバイザーに入ってもらい、地域資源を最大限に活かせるイベントを企画し、当日は参加者へ適切なアドバイスをしてもらった。	イベントの企画はネットワーク構成団体のアイデアをもとに比較的自由な発想で決定し、事前準備は主に市が事務局として進め、広報活動や当日の運営は協働で実施するなど、効率的な役割分担ができています。今後も、様々な団体に声かけをし、ネットワークの拡大を図りながら、より効果的な事業を推進していきたい。 (改善点など)令和5年度はイベントの企画段階から、日本婚活支援協会のアドバイザーに入ってもらい、地域資源を最大限に活かせるイベントを企画し、当日は参加者へ適切なアドバイスをしてもらった。

		担当課	事業名	手法別	協働のパートナー (記入団体)	事業内容	事業の成果・課題・改善策、改善点など	
							担当課	パートナー
中止	26	介護高齢課	市民敬老号事業	事業協力・協定	沼田市老人クラブ連合会	高齢者の親睦と社会見聞を広めるため、2泊3日の県外旅行を実施		
	27	介護高齢課	老人クラブ助成事業	補助・助成	沼田市老人クラブ連合会	単位老人クラブに1年間の活動費の助成として、補助金を交付している。	老人クラブは、地域の高齢者全体を視野に入れた健康づくりや介護予防活動、友愛訪問等の地域支え合い活動等に取り組んでおり、地域社会の重要な担い手として、なくてはならない存在である。 しかし、クラブ数、会員数とも減少しており、これに歯止めをかけていくことが今後の課題である。 (改善点など)クラブ数、会員数の減少に対し、支部や単位クラブにおいて加入促進を図った。	クラブ数、会員数とも減少しており、これに歯止めをかけていくことが今後の課題である。 (改善点など)クラブ数、会員数の減少に対し、支部や単位クラブにおいて加入促進を図った。また、各種提出書類については簡略化した。
	28	健康課	高齢者筋力向上トレーニング事業	事業協力・協定	老人クラブ、ふれあいいきいきサロン、保健推進員、介護予防サポーターほか(柳町福老クラブ)	暮らしに役立つ筋力向上トレーニングを実施しながら仲間づくりを行う。	定期的に代表者様より事業のご相談をいただき、事業が円滑に運営されるために必要な支援を随時行うことができる。 今後も相談を随時受けられる体制を継続し、事業実施に努めたい。	参加者の人数を確保する事が課題。参加者が参加し続けてもらえるようにするのが課題。
	29	健康課	地区健康教室	共催	沼田市保健推進委員会	地域で健康教室を開催し、こころの健康及び生活習慣病予防等の正しい知識の普及を図る。	昨年度に引き続き事業説明会並びに定期総会及び講演会を実施したが、コロナ禍前の来場者数までは戻っていない状況である。 昨年度よりも地区健康相談、健康教室、ウォーキング教室等の実施回数が微増した。事業説明会と同様、コロナ禍前の実施状況に戻していけるよう、保健推進委員会と連携を図っていききたい。 (改善点など)継続的に役員会・理事会を開催し、活動内容の検討を図った。	保健推進委員会運営に関しては、理事会等で事業計画について意見を聞き、事業実施に反映できるよう努めた。 今後も、事務局と連携を図りながら、地区の活動を増やしていきたい。 (改善点など)継続的に役員会・理事会を開催し、活動内容の検討を図った。
	30	産業振興課	沼田まつり	実行委員会・協議会	沼田まつり実行委員会	各部会を設置し、各種団体の協力を得て沼田まつりを開催する。	令和5年度の入り込み数は、24万人であった。	

		担当課	事業名	手法別	協働のパートナー (記入団体)	事業内容	事業の成果・課題・改善策、改善点など	
							担当課	パートナー
	31	産業振興課	新規学卒就職者 激励親睦のつどい(研修会)	共催	沼田地区労働教育委員会	利根沼田地区の事業所に就職した若者の激励と親睦を図る。	令和5年度の参加者は、14事業所49名であった。令和4年度よりも若干の参加者減となった。令和5年度も飲食を伴う内容は実施せずフォローアップ研修等を実施した。	
	32	産業振興課	利根沼田勤労者ソフトボール大会	共催	沼田地区労働教育委員会・沼田市ソフトボール協会 (沼田地区労働教育委員会)	勤労者の体力づくりと親睦を図るため、ソフトボール大会を行う。	令和5年度の出場者数は、12事業所16チーム250名であった。	
	33	産業振興課	利根沼田勤労者卓球大会	共催	沼田地区労働教育委員会、利根沼田卓球協会 (沼田地区労働教育委員会)	勤労者の体力づくりと親睦を図るため、卓球大会を行う。	令和5年度の出場者数は、7事業所11チーム60名であった。	
	34	産業振興課	新規学卒就職者研修会	共催	沼田地区労働教育委員会・FM-OZE (沼田地区労働教育委員会)	新規学卒就職者を対象に、勤労意欲の向上を図るために研修会を開催する。	令和5年度の参加者は、14事業所49名であった。	

		担当課	事業名	手法別	協働のパートナー (記入団体)	事業内容	事業の成果・課題・改善策、改善点など	
							担当課	パートナー
	35	産業振興課	児童木工工作大会	補助・助成	沼田木材組合	子供達に木のぬくもりと有益性を認識してもらうため、木工工作大会を行う。	令和5年度の参加者は、1日目:21組52名、2日目:31組75名、合計52組127名であった。	
	36	産業振興課	ニュー木工工作広場	補助・助成	利根沼田建築相互組合	地元産木材のPR及び住民交流等のために木工工作広場を開催する。	令和5年度の参加者は、木工作品の作製48名(大人31名、子ども17名)、包丁研ぎ39丁(17名)であった。	
	37	産業振興課	沼田市産業展示即売会	実行委員会・協議会	沼田地区地場産業振興協会	本市地場産品の総合展示・即売、各種催事の実施	令和5年度の出展者数は2日間合計で57業者、入場者数は2日間合計で約20,000人であった。コロナ以前並の出足にまでは回復していないが、参加業者及び来場客からは概ね好評を得ている。改善を重ねながら継続すべき事業であるとする。	
	38	農林課	沼田市農業まつり	実行委員会・協議会	沼田市農業まつり運営委員会 (利根沼田農業協同組合)	農産物直売、抽選会など多彩なイベントにより農業のアピールと交流	沼田市、利根沼田農業協同組合、沼田市農業委員会が共催となり、多くの農業関係者の協力を得て開催していることから、農業関係者間の交流を図るとともに、安心安全な農産物の提供を通して、来場される消費者との交流も図られている。 事業費の節減に努めるほか、提供品の有料化、出店料等についての検討が必要である。 (改善点など)コロナで前年事業なし	農業祭終了後の意見交換 ○生活研究グループ→今回女性部と一緒にプレゼント配布を行ったが内容が違っているので別々の時間帯がよいのではないかな。 ○とらや羊羹プレゼントについて→・100本用意したが数分で終わってしまった。並んだ方からの苦情も多い。・羊羹はとらやさんより提供していただいているので増やしてもらうのもいいかな。・担当部署からの意見にもあったがプレゼントをやめ抽選の景品等に変更してはどうか。 ○抽選券について→・新聞折込広告に付帯する抽選券について1軒に一枚しかないため抽選券の入手方法について聞かれた。昭和村のイベントでは1枚100円で販売していた。よそから来た人でも参加できるので良いのではないかな。・担当部署の意見として会場で野菜等購入した人へ抽選券を配布する意見も出ている。・産業祭で抽選を行っているが配布数を管理しながら行っている。・抽選会で景品が余ったとのことだったので会場で配布するのは良い事だと思う。→抽選券についてチラシの他に会場で購入した方へ配布をすることを検討する。

		担当課	事業名	手法別	協働のパートナー (記入団体)	事業内容	事業の成果・課題・改善策、改善点など	
							担当課	パートナー
	38	農林課	沼田市農業まつり	実行委員会・協議会	沼田市農業まつり運営委員会 (利根沼田農業協同組合)	農産物直売、抽選会など多彩なイベントにより農業のアピールと交流		○生活関係の業者について販売手数料はどうなっているのか→当日現金を管理するのにリスクがあること、職員も少なくなり時間がかかること等を考慮し、今回は出店料として5,000円を基本としている。一部業者については要望により前回同様に売り上げに応じた金額でいただいている。 ○JAふじ伊豆(旧JA伊豆太陽)について→旧JA伊豆太陽について合併し一支部となっている。今回、干物、加工品、花卉等を仕入れこちらで販売した。下田との関係を深めるために3月下田へ。本年度は下田の担当が来組予定し交流を図る。 ○来年度開催について→・今年度野菜の販売がある為通常より2週早めている。・りんごについては10月後半が良いが少し前でも品種等変わるが何とかなると思われる。・2週目は産業祭の為重複する。・野菜が出せるのは19日がギリギリでは。 (改善点など)コロナで前年事業なし
	39	農林課	認定農業者協議会活動支援事業	補助・助成	沼田市認定農業者協議会	認定農業者協議会活動補助	平成22年4月12日に沼田、白沢、利根の各協議会が合併し、新たな「沼田市認定農業者協議会」がスタートした。会員数も223名と多くの会員をかかえ、認定農業者が経営改善や規模拡大に取り組めるよう情報を共有できる組織運営が必要となる。 (改善点など)研修開催やイベントへの参加をすることができた。今後も状況を見ながら事業内容の改善に努めたい。	
中止	40	農林課	生活研究グループ活動支援事業	補助・助成	沼田市生活研究グループ	生活研究グループ活動費補助		高齢化により会員減少が続いているため、募集を行い会員の増加を図りたい。
	41	農林課	地域農政推進委員会支援事業	補助・助成	沼田ほか7地区地域農政推進委員会 (利根沼田農業協同組合)	地域農政推進委員会補助	今後も、農業振興に対する意見聴取や情報交換等を行い、組織として情報を共有し検討していく必要がある。 (改善点など)事務局と連携を図り必要な活動の検討を行う。	今後も、行政と一体となり農業振興に関して意見聴取や情報交換等を行い、連携していく必要がある。 (改善点など)行政と連携を図り必要な活動の検討を行う。

		担当課	事業名	手法別	協働のパートナー (記入団体)	事業内容	事業の成果・課題・改善策、改善点など	
							担当課	パートナー
	42	観光交流課	交流居住促進事業	実行委員会・協議会	沼田市交流居住促進協議会	都市部との交流事業の促進・移住希望者等受け入れの環境整備	都市間交流事業については、防災や環境に関する協定を締結している新宿区や板橋区、港区などとの交流を継続し、一定の成果を上げてきた。移住・定住については、トライアルハウスの整備や移住コンシェルジュ・地域おこし協力隊による相談など、現地での面談・オンラインにより多くの相談者に対応した。また、ウェブを活用した幅広い情報の発信を行った。 (改善点など)今後も引き続き組織や事業の見直し、検討を行い、成果を上げていきたい。	都市間交流事業については、防災や環境に関する市との協定を締結している新宿区や板橋区、港区などとの交流を継続し、一定の成果を上げてきた。移住・定住については、市の意向を踏まえ、トライアルハウスの活用や移住コンシェルジュ・地域おこし協力隊による相談など、現地での面談・オンラインにより多くの相談者に対応した。また、ウェブを活用した幅広い情報の発信を行った。 (改善点など)今後も引き続き、市と相談しながら組織や事業の見直し、検討を行い、成果を上げていきたい。
	43	観光交流課	観光ボランティアガイド	事業協力・協定	沼田市観光協会	観光ボランティアガイドによる観光宣伝	大正ロマンエリアも整備された事に伴い、これまでの真田関連の歴史と合わせて案内範囲を拡大させて、来訪する観光客に対して沼田の歴史や文化を更にアピールすることができた。	
	44	観光交流課	沼田市観光協会事業	補助・助成	沼田市観光協会	観光農園、飲食店等の紹介や、コロナウイルス対策事業の実施	コロナウイルス感染症5類移行に伴い、中止・縮小した事業も通常規模で取り組むことができた。また、本市の情報だけにとどまらず、周辺自治体と情報共有することで、地域に訪れる観光客の利便性を更に向上することができた。 しかし、市で求めていることを観光協会で行ってもらうことが叶わないこともあったので、今後は市の要望にあった事業展開を行ってもらえるよう観光協会とより協議していくことが課題である。	コロナウイルス感染症5類移行に伴い、中止・縮小した事業も通常規模で取り組むことができた。また、本市の情報だけにとどまらず、周辺自治体と情報共有することで、地域に訪れる観光客の利便性を向上することができた。
	45	観光交流課	白沢農産物収穫感謝祭	実行委員会・協議会	白沢農産物収穫感謝祭実行委員会 (株)白沢振興公社	秋の味覚のPRと、消費者に感謝の気持ちを込めて特価販売を行う。	新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年より中止が続いていたが、秋の行楽シーズン開催し、盛況であった。	
中止	46	観光交流課	白沢高原りんご&ぶどう祭り	実行委員会・協議会	白沢高原りんご&ぶどう祭り実行委員会 (白沢りんご研究会)	秋の味覚のPRと、お客様参加型イベントによる交流	春先の霜や雹害による収穫量不足のため中止。	

		担当課	事業名	手法別	協働のパートナー (記入団体)	事業内容	事業の成果・課題・改善策、改善点など	
							担当課	パートナー
	47	観光交流課	吹割の滝開き・無事故安全祈願祭	事業協力・協定	利根町観光協会	シーズンの開幕を祝い、無事故を祈願する。	吹割の滝観光協会関係者の事業に対する自主性・自立性等の意識はうかがえるが、会員の高齢化が進んでおり、滝開き・無事故安全祈願祭を執行できる後継者の確保が心配される。	令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響により、主催者及び一部関係者のみでの開催となっているが、観光客の無事故安全を祈願するとともに、吹割の滝をPRするため、今後も継続が望まれる行事である。
中止	48	観光交流課	とねふるさと風のまつり	事業協力・協定	とねふるさと風のまつり実行委員会 (利根町観光協会)	地域住民参加型の手づくりイベントの開催により、地域の活性化と観光振興の一助とする。	令和5年度について、コロナ禍による影響が残っている等の理由から中止。	
中止	49	観光交流課	老神温泉そば祭り	事業協力・協定	老神温泉そば祭り実行委員会 (利根町観光協会)	「奥利根高原そば」を活かし、滝と温泉を結びつけた新たな観光の創出と地域の活性化を図る。	令和5年度について、コロナ禍による影響が残っている等の理由から中止。	
	50	観光交流課	老神温泉赤城神社節分祭	補助・助成	老神温泉観光協会	赤城神社での節分祭を開催し、厄払いと観光振興、集客を図る。	新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度は中止となり、令和3年度から感染防止対策を行った上で再開、令和5年度からは5類に移行したこともあり、コロナ禍前の開催方法に戻りつつある。コロナ禍では感染防止等の観点から参加者の募集等、周知活動が難しかったと思うが、今後、状況に応じた開催方法等を工夫し、もっと広く周知し誘客に繋げていく必要がある。	老神温泉の行事の中でも重要なお祭りであり、地域に根ざした伝統行事として、近隣住民だけでなく観光客も参加している。新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度は中止を余儀なくされ、感染防止対策を行い令和3年度から再開、令和5年度からは5類に移行したこともあり、コロナ禍前の開催方法に戻りつつある。観光交流や地域振興という側面からも、今後も継続が望まれる行事である。
	51	都市計画課	公園管理事業	事業協力・協定	薄根町区外10団体	公園の維持管理を地元住民との協定により実施し、利活用を図る。	公園運営委員等の高齢化が進み世代交代が急務な団体も存在する。	地域で公園の企画運営をする事で、利用団体や利用時間等を適切に把握し、効率的な公園管理が図れた。
	52	都市計画課	市民緑化推進事業	補助・助成	幕岩の会外12団体	緑化推進事業に対する補助金の交付	広報等を通じ広く市民に周知しており、緑と花のあるまちづくり事業については、毎年多くの参加団体があるが、生け垣奨励事業は民間建築状況により左右されるため、年度毎の申請件数に差異が生じてしまう。(R5年度申請:なし)また、壁面等緑化奨励事業については、対象地域が限定されているため、ほとんど申請がない状況である。	道路沿線等を緑化する事により、生活環境の向上が図られた。

		担当課	事業名	手法別	協働のパートナー (記入団体)	事業内容	事業の成果・課題・改善策、改善点など	
							担当課	パートナー
	53	都市計画課	中心市街地活性化の会補助事業	補助・助成	沼田市中心市街地活性化の会	中心市街地の活性化を目指し、地域のよりよいまちづくり実現に向けた事業への補助金交付	昨年度に引き続き、中心市街地活性化の基盤となるハード事業（土地区画整理事業）が徐々に進捗している。今後は街づくりのためのソフト施策等を効果的に実施していく必要があるため、協働パートナーと連携して目標達成に向け取り組みたいと考える。	市当局、並びに関係各機関と各権利者間の情報共有が図られた。
	54	生涯学習課	沼田市文化祭開催事業	委託	沼田市文化協会	市民の作品展示・舞台発表などにより、芸術文化の普及発展、意欲向上を図る。	改修されたウェルプラザと利根沼田文化会館を中心とし開催された。コロナ禍により高齢化や会員の減少など文化活動の維持や継承に大きな課題もあるが、計画、準備から開催まで一丸となり盛況に終わることができた。	
	55	生涯学習課	白沢町文化祭	委託	沼田市文化協会白沢支部	文化祭の開催（計画立案含む）	コロナ禍以降活動していない団体もあり参加団体が減少しているが、継続的に出品している団体や、コミュニティ講座で作成した作品を出品するなど個人の参加者も多く、芸術文化に対する創作意欲の高まりが感じられた。また、昨年引き続きハーブティーの試飲体験や、新たにマクラメ編み体験コーナーを設け盛況のうちに終わった。地域に根付いた事業であることから、今後も継続していくことが望ましい。	
	56	生涯学習課	青少年健全育成推進モデル地区開催委託事業	委託	沼田地区青少年育成連絡協議会	沼田地区上毛かるた大会の開催	コロナ禍の影響により、4年ぶりの開催であったが、当初の目的どおり適切に事業が行えた。	
	57	生涯学習課	子ども会ボランティア活動開催委託事業	委託	沼田市青少年育成連絡協議会	子ども会を単位とした清掃活動等のボランティア活動の実施	R4年度は新型コロナウイルス感染防止のため中止であったが、R5年度から事業を再開でき、春と秋の2回開催された。	4年ぶりの開催であったが、各育成会の活性化につながれたと考えられる。 地域を見つめ直し、ボランティア精神を養う、家庭教育支援として有効である。
	58	生涯学習課	青少年指導者会研修委託事業	委託	沼田市青少年指導者会	青少年健全育成を支援する青少年指導者会の研修会の実施	研修会を実施し、指導者の資質及び指導技術の向上に努めた。青少年育成連絡協議会の事業に協力し、青少年の健全育成に貢献した。	
	59	生涯学習課	青少年育成大会開催委託事業	委託	沼田市青少年育成連絡協議会	青少年育成大会及び研修会の実施	当初の目的どおり、適切に事業が実施できた。	
	60	生涯学習課	子ども会行事開催委託事業	委託	沼田市青少年育成連絡協議会	かるた大会の開催により子ども会活動の活性化と会員相互の親睦を図る。	コロナ禍の影響により、4年ぶりの開催であったが、当初の目的どおり適切に事業が行えた。	
	61	生涯学習課	沼田市二十歳を祝う会開催委託事業	委託	沼田市二十歳を祝う会実行委員会	二十歳という人生の節目を祝う式典の開催	「成人式」の後継事業として、「二十歳を祝う会」を開催した。運営に対し参加者が協力的で無事に終わることができた。	

		担当課	事業名	手法別	協働のパートナー (記入団体)	事業内容	事業の成果・課題・改善策、改善点など	
							担当課	パートナー
	62	生涯学習課	青少年自然体験活動推進事業	委託	沼田市青少年育成連絡協議会	集団生活に耐えられる意志・体力を養うための野外体験活動の実施	これまで行っていた「沼田ネイチャーキッズ」の事業を見直し、「ぬまたネイチャースクール」と改め、尾瀬高校協力のもと尾瀬に関する自然学習を行った。	
	63	生涯学習課	市民ハイキング	事業協力・協定	沼田山岳会	市民参加のハイキングの実施	感染等に注意をしながら、中之条町の「野反湖～八間山」を設定した。体力差があり、ハイキングのコース選定の難しさを感じた。ノゾリキスゲ咲く湖畔の景色などは素晴らしく好評であった。	
	64	生涯学習課	おはなしポケット	事業協力・協定	沼田読み聞かせの会	子供を対象とした読み聞かせ	乳幼児も多く参加するため、感染症予防対策を講じながら開催した。毎回楽しみにして参加する親子も多く、大変好評である。	子どもたちの読書活動の推進と図書館利用の促進が図られている。多くの子ども達の参加があり、大変好評である。
	65	生涯学習課	ブックスタート	事業協力・協定	ブックスタートボランティア(沼田読み聞かせの会)	絵本を介して、赤ちゃんと保護者のふれあいを応援する	新型コロナウイルス感染防止対策として、令和2年度以降はボランティアによる読み聞かせを中止していたが、令和5年1月から希望する親子に対して再開し、令和5年8月以降は4カ月健診を受診する全ての親子に対して読み聞かせを行うことができた。 この事業は、平成18年のスタートから15年以上が経過し、2人目、3人目となる親子も多くなり、ブックスタートをきっかけとして、読み聞かせを続けているとの声も寄せられ、事業の成果を実感できている。	新型コロナウイルス感染防止対策として、読み聞かせを中止していましたが、令和5年1月から希望者に対して読み聞かせを再開し、令和5年8月以降は健診会場で全ての親子に対して読み聞かせを行うことができました。ボランティア参加者からは、「赤ちゃんに会えるのがとてもうれしく、絵本を読んであげたときの赤ちゃんのかわいい反応をお母さんと一緒に楽しく体験している。ブックスタートを通して、地域に子育てを応援する人がたくさんいることを知ってもらったり、赤ちゃんが参加できるさまざまな活動に出会ったりすることで、安心して子育てができるきっかけになると良いと思う。参加したお母さん方に大変好評。」といった声が寄せられています。 今後も、多くの親子に読み聞かせを行うことができるよう望みます。
	66	文化財保護課	茶会開催業務	委託	沼田茶道会	旧生方家住宅において桜の開花時期にお花見添え釜を開催	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3年間実施できていなかったお花見添え釜を開催することができた。桜の開花に合わせた4月の土日、4回について、各流派で分担して実施した結果、参加人数は延べ367人であった。	